

1 研究主題

令和5年度～令和7年度（3か年計画）

研究主題：自ら未来を創造し切り拓く石狩の子どもを育てる学校教育の推進

副主題：持続可能な社会をつくる子どもに、必要な資質・能力を育成する学校経営の在り方

2 研究推進の概要

(1) 令和7年度の協議題

令和7年度は、3か年研究計画の3年次であり、第3協議題の課題①・②およびそれぞれの課題の視点ア・イについて研究活動をすすめた。

○【第3協議題】（令和7年度）

～改善を続ける組織をつくり、社会の負託に応える学校経営の確立～

(2) 管内小中学校長会研究会の開催

①春季学校経営研究会 令和7年4月10日（木）北広島市

課題① 子どもと職員を守る危機管理、サービス管理の在り方

視点ア 子どもの命を守りいじめを解決する危機管理

イ 保護者・地域の信頼に応えるサービス管理

②秋季学校経営研究会 令和7年11月6日（木）北広島市

課題② 検証改善サイクルを活用した学校経営の在り方

視点ア 教育活動の質の保障・向上を図る学校評価

イ 職員のやりがいを引き出す人事評価と働き方改革

(3) ブロック校長研修会

①Aブロック校長研修会（千歳、恵庭、北広島） 令和7年9月9日（火）担当：恵庭

②Bブロック校長研修会（江別、石狩、当別、新篠津） 令和7年9月16日（火）担当：石狩

課題①視点ア・イ、課題②視点ア・イのいずれかを取り上げ、提言・研究協議

3 研究の成果と課題

令和7年度の協議題について、課題と視点に沿った多くの提言を共有した。また、これからの社会情勢や子どもの実態を多面的にとらえ、私たち校長が学校内外において確かな経営ビジョンを示すことの重要性についても共有された。

今後は、各提言をはじめ研究協議で交流された各学校の優れた取組について、各校長が自校の実態を踏まえつつアレンジしていくことが必要である。また、取組を進めるに当たっては、子どもたちの資質・能力の定着や伸長が目的であることを念頭に、手立てとして共有された各取組については、自校の実態に合っているのか否かを適時適切に検証し、適切と判断した場合には重点化を図るなどして、取組を徹底させることが求められる。

1 研究主題

令和8年度～令和10年度（3か年計画）
研究主題：持続可能な社会の創り手として
未来を切り拓く石狩の子どもを育てる学校教育の推進
副主題：ウェルビーイングの実現を図る学校経営の在り方

2 研究主題設定の趣旨

今の子どもたちには、知識を現実の事象と関連付けて理解する力や、概念としての深い理解、根拠をもって自らの考えを表現する力の育成が求められている。また、社会参画意識を高め、将来の夢や目標をもつ子どもの育成も重要な課題である。

こうした力を育成する教育を推進するため、校長には、学校経営方針の提示、組織づくり、学校外との連携を通して学校の教育力を高めることが求められる。

本研究では、学習指導要領の趣旨を踏まえ、「持続可能な社会の創り手の育成」と「ウェルビーイングの向上」を視野に、未来社会を生きる石狩の子どもを育てる学校経営の在り方について究明する。（令和8年度は3か年計画の1年目）

3 研究内容

○令和8年度

課題① 質の高い学校経営の実現に向けた組織マネジメント

課題② 社会との連携・協働による学校経営

○令和9年度

課題① 質の高い教職員集団の形成

課題② 社会の信頼に応える学校経営

○令和10年度

課題① 新たな時代に対応するカリキュラム・マネジメント

課題② ウェルビーイングの実現を図る学校経営

4 研究推進計画

- (1) 市町村研修部長会議（管内研究計画の確認、各市町村校長会研究内容の交流）5月
- (2) 管内小中学校長会研究会の企画と運営
 - ・春季学校経営研究会（令和8年度課題①） 4月14日（火）
 - ・秋季学校経営研究会（令和8年度課題②） 11月 5日（木）
- (3) ブロック校長研修会の開催
 - ・Aブロック校長研修会（千歳、恵庭、北広島）9月10日（木）担当：北広島
 - ・Bブロック校長研修会（江別、石狩、当別、新篠津）9月14日（月）担当：当別・新篠津
- (4) 全連小・道小研究大会、全日中、道中研究大会参加
- (5) 研究集録第42集の発行（令和8年度研究のまとめ）2月

5 研究組織

市町村校長会の研究組織を母体に、管内校長会研修部が中心となり共同研究を進める。

- (1) 春季学校経営研究会（全体会・道小道中提言概要発表・3分科会構成）
- (2) 秋季学校経営研究会（全体会・講話・3分科会構成）
- (3) ブロック校長研修会（講話・1分科会構成）